

### ビーナネットChino



令和6年度の予算について、動画でも紹介しています。

令和6年度予算は、①行財政改革と人材育成の推進、②「交流拠点CHINO」の構築、③DX、GXによる課題解決の促進の3つを柱とする市政経営方針に基づき、並行して策定してきた第6次総合計画の基本構想案を加味して、子育て・教育環境の充実を重視し、「未来へつなぐ改革への第一歩予算」としました。

第6次総合計画では、3つのまちの姿として、「安心して快適に暮らせるまち」、「心豊かに学び育ち活躍できるまち」、「活力と魅力があふれる稼げるまち」の実現を目指し、それらを取捨する事業を計上しています。

なお、一般会計の予算規模は、前年比41億6000万円の減少となりましたが、永明小中学校建設がピークを過ぎたことなどが主な要因となります。

# 令和6年度の予算

一般会計 301億8000万円（対前年比41億6000万円（12.1%）の減）  
※公立諏訪東京理科大学交付税相当分及び借換債を除く実質的な予算  
278億9700万円（対前年比26億8600万円（8.8%）の減）

全会計 445億7654万円（対前年比37億1537万円（7.7%）の減）  
※全会計… 一般会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、水道事業会計、下水道事業会計、財産区特別会計（45財産区）

### 茅野市ホームページ

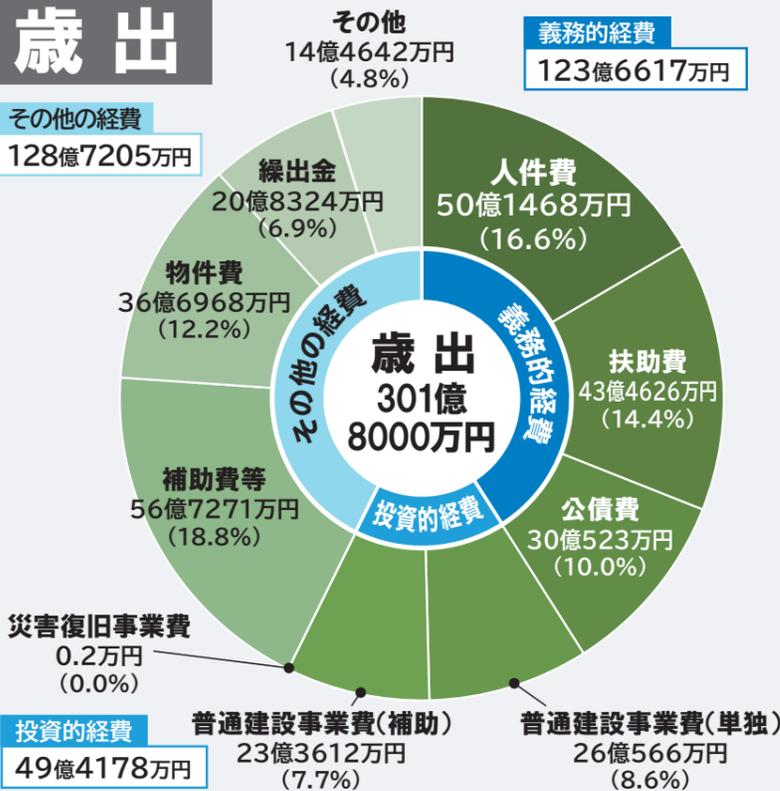
令和6年度予算の詳細や具体的な事業内容などは「茅野市予算概要」（市ホームページに掲載）をご覧ください。



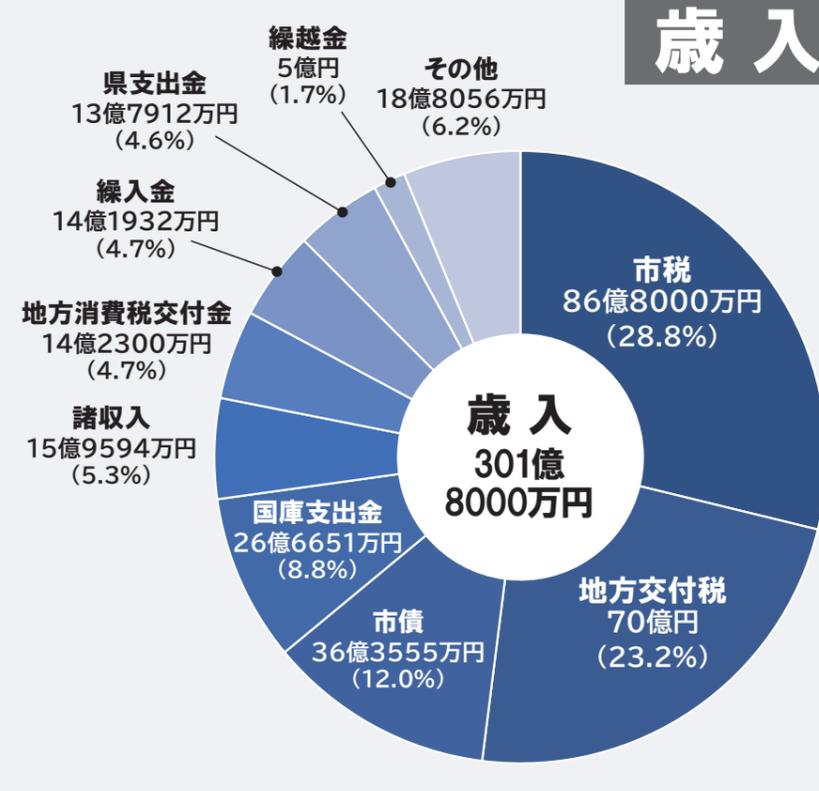
### 用語の説明

- 義務的経費**… 毎年必ず支出しなければならない経費
- 人件費**… 特別職と一般職員に対する給料や報酬
- 扶助費**… 高齢者、障害者、児童のための福祉サービスや生活保護、医療費など給付に係る経費
- 公債費**… 市の借金である市債元金、利子の返済金
- 投資的経費**… 長期にわたり使用する社会資本整備に要する経費
- 普通建設事業費**… 道路や学校、保育園など建設・改良に係る経費
- その他の経費**… 義務的経費、投資的経費以外の経費
- 補助費等**… 一部事務組合や各種団体、個人などに支出する補助金や負担金
- 物件費**… 消費的な性質を持つ経費で、消耗品費や光熱水費、使用料、委託料などの経費
- 繰出金**… 一般会計から特別会計へ支出する経費
- その他**… 公共施設などを維持するための維持補修費や貸付金など

## 歳出



## 歳入



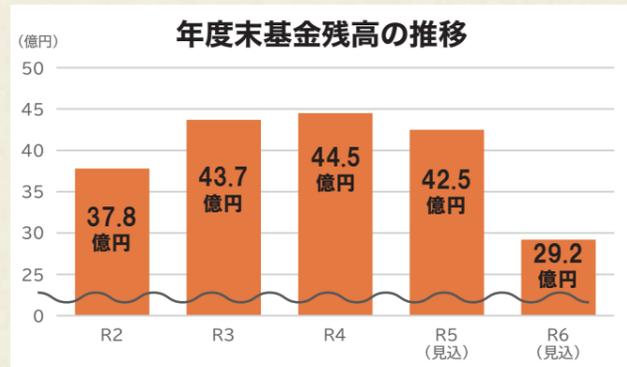
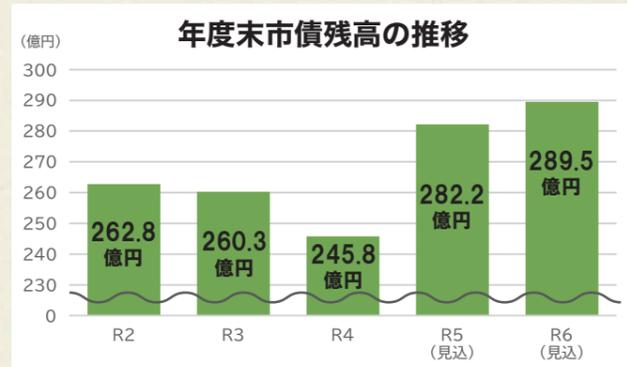
### 用語の説明

- 市税**… 個人・法人市民税、固定資産税など市に納めていただく税金
- 地方交付税**… 一定の行政サービス水準を保つため、国から交付される資金
- 市債**… 公共施設の整備などを行うために国や金融機関から借り入れる資金
- 国庫支出金**… 特定の目的のために、国から交付されるお金
- 諸収入**… 講座受講料など、他の科目に分類されないお金
- 地方消費税交付金**… 地方消費税収入を各都道府県、市町村間で按分し、交付されるお金
- 繰入金**… 一般会計以外の会計や基金から繰り入れるお金
- 県支出金**… 特定の目的のために、県から交付されるお金
- 繰越金**… 前年度から繰り越されるお金
- その他**… 使用料及び手数料、寄附金、各種交付金等

## 一般会計の市債・基金の状況

市債は、永明小中学校建設関連事業へ起債を活用したことなどにより残高が増加する見込みで、令和6年度末残高は約290億円の見込みとなっています。

基金は、予算編成において令和元年度から6年連続で財政調整基金を取り崩さざるを得ない状況となっています。今年度も、財源不足への対応を行ったために、財政調整基金を大きく取り崩す予算となっており、引き続き厳しい行財政運営が続くことが予想されます。



## 予算を家計に例えると…



令和6年度の一般会計予算を家計に置き換えてみました。市の予算と家計では、お金の使い道などが違うので、単純には比べられませんが、家計に置き換えると、次のようになります。市の予算も家計と同じように、将来までの支出の見通しをもって、収入を確保していくなど、収支のバランスをとっていくことが重要です。

「収入」	令和6年度	前年度との比較
給与	221,082円	-5,783円
うち基本給(市税)	86,814円	-2,231円
諸手当(地方交付税、国・県支出金など)	134,268円	-3,552円
パート収入(使用料、手数料等)	30,506円	-434円
貯金の取り崩し(基金繰入金) (※取り崩し前の貯金残高 42,471円)	13,899円	1,113円
銀行からの借入(市債)	33,513円	-20,896円
計	299,000円	-26,000円

「支出」	令和6年度	前年度との比較
食費・医療費・光熱水費 (人件費・扶助費・物件費)	130,327円	4,564円
ローン返済(公債費)	27,209円	15円
家の増改築など(投資的経費)	49,426円	-32,546円
家・車の修繕費(維持補修費)	2,947円	350円
保険料・各種会費など(補助費)	56,736円	947円
子どもへの仕送り(繰出金)	20,836円	795円
貯金(積立金)	613円	-108円
その他の生活費	10,906円	-17円
計	299,000円	-26,000円

### ③ メタバースを活用した婚活支援事業

事業費 180万円

県が提供しているAIによるマッチングシステムを導入し、同システムを活用した相談業務を社会福祉協議会に委託して実施します。  
令和6年度は、メタバースを活用した婚活事業を新たに実施します。



### ③ レイクリゾート構想策定

事業費 81万円

白樺湖、夢科湖及び女神湖並びにそれらの周辺地域を活かしたレイクリゾート構想を県が事業主体となって策定します。  
来訪者に複数の観光地を周遊し、長く滞在してもらう取組として、広域的に連携を図り、誘客につなげていくことを目指します。



### ② 私立認定こども園への支援

事業費 6億4,099万円

私立認定こども園等へ、入所児童の保育に要する経費などを支援します。  
国の補助制度を活用し、ちのせい幼稚園の施設改修への支援を行います。



### ① 新地域公共交通の運行支援

事業費 1億5,615万円

令和4年10月から、「のらざあ」と「通学・通勤バス」が本格運行しています。  
「のらざあ」は、利用者が増え、予約が取れない事態が生じてきています。令和6年度中に車を8台から2台増やして10台体制とします。引き続き利用者目線に立った運行を行います。



# 令和6年度の主な施策

## 3つのまちの姿と取り組み

### ① 安心して快適に暮らせるまち

【保健・医療・福祉、都市基盤、消防・防災、環境・衛生、公共交通、行政経営】

### ② 心豊かに学び育ち活躍できるまち

【子育て・教育、文化・芸術、生涯学習、人材育成、地域コミュニティ】

### ③ 活力と魅力があふれる稼げるまち

【中心市街地活性化、産業振興、企業誘致、女性の活躍、移住・テレワーク】

### ③ ふるさと納税の促進

事業費 1億8,725万円

個人版ふるさと納税は、特産品を返礼品として充実させるなど制度の活用を促進し、茅野市の認知拡大につなげています。

今年度は、茅野市のふるさと納税を知ってもらうためのプロモーションにも力を入れて行きます。個人版と企業版合わせて、ふるさと納税4億1000万円を目指します。



### ③ 女性起業支援事業

事業費 300万円

女性が活躍できるまちづくりを目指し、ビジネスコンテストを主体とした女性のための社会起業実践プログラムに対し支援を行います。併せて、その過程を広く情報発信することで、女性が活躍し躍動できるまちとして茅野市をPRし、関係人口の創出・拡大を目指します。



### ③ 販路開拓等推進事業の創設

事業費 480万円

付加価値等のある高収入作物の提案や栽培支援、加えて、生産者と販売者をつなぐ新たな枠組みの構築を行い、多様な担い手の創出や儲かる農家の実現を図るため、委託型の地域おこし協力隊の制度を活用し、次の活動を行います。

①農作物生産者の募集、②付加価値等のある新たな農作物の栽培提案、栽培支援、③農作物の買取り販売、④新たな販売ルートの開拓、⑤人材育成

### ① 行財政改革の推進

事業費 314万円

少子高齢化社会の進展に伴う担い手不足、財政の硬直化といった課題解決に向け、令和4年度に行財政改革基本方針を策定しました。  
令和5年度には、この基本方針に基づく取組をさらに推進するため、優先して改革を進める事項をまとめた「行財政改革プラン2023」を策定しました。これらを着実に進めるため、令和6年度は、公共施設に係る市民アンケートを実施します。

### ③ 地域DXの推進

事業費 1億1,600万円

市民が暮らしやすさを実感できるサービスの提供と、付加価値の高い新たな産業と雇用を創出することを目指し、地域DXを推進していきます。

令和4年度に国の交付金を活用し、地域DXの基盤となる都市OSを構築しました。これからは、都市OS上で稼働するサービスを構築していきます。令和6年度は、母子手帳アプリ「すくすくちのっこby母子モ」と都市OSの連携などを行います。

### ③ ハケ岳ファン拡大を通じた交流人口・関係人口創出事業

事業費 500万円

知名度の高い「ハケ岳」やそのふもとでの暮らしについてのプロモーションを行い、新たな「ハケ岳ファン」を獲得する。さらに、「ハケ岳ファン」に「茅野市ファン」になってもらうための施策をすすめ、関係人口及び移住者の創出・拡大を目指します。



### ③ 森林環境譲与税を活用した民有林の整備

事業費 3,889万円

森林の管理が円滑に行われるよう、茅野市森林経営管理制度実施方針に基づき、森林環境譲与税を活用した民有林の整備に取り組みます。

今年度は、森林所有者の意向調査が済んだ民有林の整備をするほか、狛江市との脱炭素実現に関する連携協定に基づき間伐材の有効活用の一環として共同で木工製品を製作・配布します。



### ① 自治体DXの推進

事業費 2,740万円

デジタル技術の活用により、庁内業務の効率化と市民サービスの向上を目指します。

令和6年度は、Wi-Fi環境の更新業務と、国のアナログ規制の見直しに対応するための業務委託を実施します。また、入札参加申請をオンライン化し、入札参加事業者と市の双方の負担軽減を図ります。



### ① 公共施設の照明LED化改修(3月補正前倒し分含む)

事業費 2億8,490万円

公共施設のゼロカーボンの取組として、議会棟、総合体育館、東部中学校(国の補正予算活用のため3月補正に前倒し)等のLED化改修工事と、令和7年度にLED化する予定の健康管理センターと図書館の実設計をします。



### ① 福祉医療費給付金の拡充

事業費 4億7,620万円

健康の保持と福祉の増進を図るため、子ども、障害者、母子・父子家庭、75歳以上の低所得者などに福祉医療費給付金を支給しています。

令和6年4月から、こどもの対象者を高校生(18歳になってから最初の3月31日までの間にある人)までに拡充します。

